

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【公開番号】特開2002-86760(P2002-86760A)

【公開日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-275965(P2000-275965)

【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 2/18

B 4 1 J 2/185

B 4 1 J 2/01

B 4 1 J 11/02

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 11/02

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月3日(2003.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

一方、案内部材8の上面には主走査方向に沿って複数の突部21, 22が配置されている。これらの突部21, 22は、前記受け穴10B2を挟んでそれぞれ案内部材8の長手方向に配列されている。記録用紙の搬送方向における上流側に配列された一方の各突部21には、図3に示されたように記録用紙の搬送方向に沿って上昇する斜面21aが形成されている。また、他方の各突部22は、記録用紙の搬送方向に沿って上昇する斜面22aと、頂面22bとが形成されている。この構成により、上流側から送られる記録用紙は、各突部22に形成された頂面22b上を走査するようになされ、前記した記録ヘッド7との間で所定のペーパーギャップが形成されるようになされている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

したがって、前記廃液量計数手段39は、クリーニング制御手段33からの制御信号を受けた場合に、クリーニングモードに基づいて、係数設定手段43に構築されたテーブルをアクセスし、それぞれのクリーニングモードに対応する廃液量計数値を読み出す。そして、その計数値を廃液量積算カウンタ40に送り出すように作用する。また、前記廃液量計数手段39は、印刷制御手段30から制御信号を受けた場合に、1パス毎に前記した“はみ出し印刷時1”または“はみ出し印刷時2”に対応する計数値を読み出して、これを廃液量積算カウンタ40に送り出すように作用する。したがって、この場合において廃液量積算カウンタ40は、案内部材8に形成された各インク受け穴10A, 10B1, 10B2内に吐出されるインク滴の量と、クリーニング操作によって廃液吸収材14に吸収される廃液の量とを合算して計数するように作用する。